



補習校だより

平成24年度 第30号

平成24年12月8日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

お正月を迎えるにあたって

校長 永井 晋

サンクスギビングも終わり、街は年末のホリデイに向けてのイルミネーションであふれています。補習校（借用校）でも、教室や廊下がクリスマスの飾りつけでいっぱいになっていました。これは日本でも同じで、クリスマスツリーの点灯式や飾りつけが年々派手になっています。日本人のどれだけがクリスチャンなのかはわかりませんが、どうも商業的な要素が大きいような気がしてなりません。日本人が過ごしてきた年末年始の伝統もきちんと残していかなければならないと思っています。

マイアミの子どもたちは、年末年始をどうとらえているのでしょうか。やはりホリデイが中心で、年始はあまり関係なく過ごすのでしょうか。日本人として、あるいは一部だけでも日本人をルーツに持つ子どもとして、日本の伝統・文化を知ることとはとても重要なことです。日本国内でもこれが失われつつあるため、あえて学習指導

要領でも「伝統や文化に関する理解を深める教育の充実」をうたっているのです。先週の生徒朝礼で、日本の年末に関する話をしました。ご家庭でも、年末の大掃除から始めてみてはいかがでしょうか。また、たとえおせち料理を作らなくても、除夜の鐘が鳴らなくても、あるいは宗教に違いがあっても、日本の伝統や文化を学習することは

はできるはずですが。おせち料理にはなぜ黒豆を入れるのでしょうか。なぜ、昆布巻きを入れるのでしょうか。なぜ、重箱に入れるのでしょうか。これらにはすべて込められた意味が存在します。ぜひ、お子様に教えて差し上げてください。あるいは、お子様と一緒に調べてみてください。日本の心に触れることができると思います。

